

平成 30 年度市町老連会長研修会

平成 30 年 7 月 10 日（火）～11 日（水）シーサイドホテル舞子ビラ神戸で市町老連会長研修会を開催。
37 名が参加。

【第 1 日目】

● 課題提起

「老人クラブの現状及び県老連の組織及び取組み」

県老連小前専務理事兼事務局長

会員増強運動の現状と新地域支援事業への取組みなど老人クラブを取り巻く社会情勢について説明

● 事例発表

① 「高砂市老連の単位クラブ休・廃止対策について」

高砂市老連増田会長

休止・廃止の原因で一番多いのが、後継者の育成ができていない。危機的な状況でも地域によって女性リーダーが出にくい状況の現状や復帰をめざしての事例。

② 「会員増強に向けて」 加東市老連福島会長

県老連の会員増強運動の推進が、単位クラブに徹底されていなかった。広報活動通じ活動の評価を高めるとともに、活動も充実させた事例。

● グループ討議「単位クラブが休止・廃止にならないためにすべきこと」

6 グループに分かれ、①休止・廃止となる原因②情報を事前に把握できるか③休止廃止の復活は可能か。どのような支援をすべきか等について情報交換した。

● 全体会 6 グループ代表が討議結果を報告

討議のまとめとして、自主財源の確保、小規模クラブへの補助金の見直し、会員による老人クラブの地位向上への取組み、入会した会員へのメリットの必要性、休廃止クラブの復帰に向けたマニュアルづくりなど、幅広い内容の報告がありました。

平成 30 年度市町老人クラブ連合会会長研修会



中村県老連会長あいさつ

事例発表

高砂市老連 増田会長

加東市老連 福島会長



グループ討議

【第 2 日目】

● いきいきクラブ体操

● 行政説明「兵庫県の高齢者施策と老人クラブへの支援について」

県高齢政策課企画調整班 北條班長

高齢社会の現状、兵庫県の高齢者施策、老人クラブへの補助等について説明

● 講演「男女共同参画社会の実現に向けてー老人クラブへの期待ー」

(公財) 兵庫県生きがい創造協会 柳瀬理事長

県における男女共同参画の現状や老人クラブへの期待は、男女共同参画社会の理解と普及と慣行のあり方の見直し、女性が方針決定の場に参画できる場を確保する等の講演があった。

講演

(公財)

兵庫県生きがい創造協会
柳瀬理事長



↑ 行政説明

県高齢政策課
北條班長